

2023 年度 公募助成のご案内

一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト(以下、abt)は、自然環境と人間生活の調和を目的とした市民の主体的活動を支援する、独立した民間基金です。2012 年度から「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」の一般公募を行なってきました。今年度は、「調査・研究」、「広報・社会訴求」、「市場“緑化”」、「政策提言」の 4 カテゴリーで募集します。

応募要項

1. 公募趣旨

お米から果物など幅広い農産物に用いられ、シロアリ駆除剤や家庭用殺虫剤として身近な暮らしにも入り込んでいる浸透性殺虫剤(ネオニコチノイドおよびフィプロニル)——。近年の急速な研究の進展により、環境中での持続的な慢性曝露による無脊椎動物への時間累積的毒性や、食物連鎖を通じた漁業への脅威などが明らかになりつつあります。世界の科学者コミュニティからは、生態系と生物多様性全体を脅かすことへの警鐘が鳴らされるだけでなく、ヒトの母体から胎児への移行や発達神経毒性を示す研究成果も蓄積されつつあります。

本助成は、予防原則を踏まえて、製薬メーカーの意向や現行の行政判断に左右されない独立の立場からネオニコチノイド系化合物の影響を検証する「調査・研究」活動、浸透性殺虫剤の問題点や最新の研究成果を広く共有する「広報・社会訴求」活動、浸透性殺虫剤を使わないサプライチェーンの確立を目指す「市場“緑化”」活動、国や地方の立法・行政機関に規制強化を働きかける「政策提言」活動を支援します。国の農薬再評価とオーガニック推進が進むいま、規制強化へ日本が踏み出すことを後押しできるような成果を期待しています。

なお、abt ではネオニコチノイド系農薬の問題点について当法人サイトに独自のアーカイブ(資料集)を設けています。科学者による知見と参考文献を一般向けにまとめたダイジェスト版「ネオニコチノイド系農薬の危険性を、科学者が警告しています。」(2020 年度版)も参照できます。世界的な研究動向は日々進展していますが、応募の検討材料にしてください。

◆ネオニコチノイド系農薬問題アーカイブ

<https://www.actbeyondtrust.org/link/>

◆ネオニコチノイド系農薬の危険性を、科学者が警告しています。

<https://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2020/12/alert2020.pdf>

ご不明の点は遠慮なく公募担当にお問い合わせください。ご応募をお待ちしています。

2. 応募資格

ネオニコチノイド系農薬に関する問題提起や、使用の削減ないし中止に取り組む個人および団体(ボランティアグループ、NPO/NGO、公益法人、研究機関、生産者など、地域、法人格、活動実績は問いません)

3. 助成金額

「調査・研究」部門、「広報・社会訴求」部門、「市場“緑化”」部門、「政策提言」部門

1 企画あたりの上限：100 万円

【備考】

- ・ 2 部門以上にまたがる案件は、1 部門を超えるごとに 1 部門あたり 50 万円を加算した額を助成上限とします（例：2 部門にまたがる場合の助成上限は 150 万円）。
- ・ 助成対象となる活動の全予算額のうち、10%程度は申請者の自己資金を充当してください。
- ・ 対象費目は別紙「助成対象費目詳細」をご参照ください。
- ・ 企画実施にあたって必要な「人件費」（事務局スタッフやアルバイトの賃金など）は、助成申請総額の 30%まで認めます。
- ・ 実施期間中に異なる費目間の流用（助成額の 30%以内）が生じる場合には、その旨事前に報告し、承認を得たうえで実行してください。30%以上の流用は原則として認めません。

4. 助成対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に実施される活動を助成します。

5. 助成対象活動内容

a) 調査・研究部門

現行の農薬行政や製薬メーカーの意向から独立し、予防原則に基づいて一般市民・消費者・生産者の保護につながる調査や研究のプロジェクト、農薬再評価の資料となる生態系影響調査など
（企画例：ヒトへの毒性について新たな知見をもたらす研究、沿岸の汚染実態調査、底生生物や水生生物への影響調査など）

b) 広報・社会訴求部門

ネオニコチノイド系農薬の問題をより多くの人びとに伝え、どのように対処していけばいいかをともに考えるプロジェクトや、メディアを巻き込んだ課題共有の場づくり、ネット動画による情報発信など
（企画例：農薬再評価パブリックコメントの呼びかけ、学習会やウェブセミナーの開催など）

c) 市場“緑化”部門

生産者、流通業者、消費者にまたがるネオニコチノイド系農薬の利用経路に沿って、被害を最小化するためのプロジェクトなど
（企画例：消費者がネオニコフリー商品を選択できる仕組みづくり、ネオニコチノイド系農薬を使わない生産者がインセンティブを得られる実践的方法の策定・実施など）

d) 政策提言部門

ネオニコチノイド系農薬をめぐる規制や利権構造のあり方を変えていくために、中央と地方の政府および議会、製薬会社、JA といった関係者に働きかけ、一般市民や地域住民と協働するプロジェクトなど
（企画例：院内集会や議員・行政への署名提出、行政を巻き込んだネオニコフリー地域づくりや学校給食の脱ネオニコ化など）

※ 目標達成に複数年を要する企画提案については、申請書にその旨希望を書き込めますが、案件の採択と支援は年度ごとに行ないます。

6. 審査および決定について

選考委員会において書面による一次審査（2月中旬）を行ない、一次通過企画のみ abt からオンラインでのヒアリングを行なったのち、申請者プレゼンテーション（オンライン開催の予定）と、選考委員会による非公開の二次審査とを経て採否を決定します（3月中旬）。二次審査の結果は採否決定後、速やかに通知します。審査基準ポイントは下記を参照してください。選考期間中、補足的に電話やメールでのヒアリングや追加資料の提出を求める場合もあります。なお、採否の理由に関するお問い合わせについては回答いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

助成が決定した団体・個人とは「活動支援に関する覚書」を締結します。

【採択ポイント】

審査にあたっては、ネオニコチノイド系農薬問題の解決に向けた企画の戦略性・有効性・実現可能性を重視します。注目するポイントは次のとおりです。なお、条件を満たせば単発的・短期的な活動でも支援する場合があります。

- ・ 企画の焦点となる社会課題が明確に抽出されているか
- ・ 企画が問題解決にどう寄与できるかが明確に表現されているか
- ・ 企画の実施に値する重要性、緊急性、独自性があるか
- ・ 企画の具体的目標が簡潔・明確に設定されているか（期限や数値目標を含む）
- ・ 問題解決に関連する人や組織・機関の抽出と、それらへの働きかけが企画にどう織り込まれているか
- ・ 企画実施の進捗と目標達成度を計る目安が明確に設定されているか
- ・ 企画実施上の弱点と障害が認識できているか
- ・ 問題解決をめざす他の活動（把握されている場合）との協働や役割分担が明確化されているか

【採択後の流れ】

- ・ 採択された企画については abt との間で「活動支援に関する覚書」を締結したうえ、助成金の提供を含めた支援を開始します。
- ・ 採択された企画の実施主体は、成果報告会（2024年4月頃）に参加していただきます。
- ・ また、年度半ばの10月に中間報告書を、活動終了後1ヵ月以内（2024年4月末まで）に最終報告書を提出していただきます。

7. 応募方法

所定の申請用紙に必要事項を記入のうえ、メール添付で公募事務局まで申請してください。申請用紙は abt ウェブサイト（下記の応募書式リンク）からダウンロードしてください。

<http://www.actbeyondtrust.org/program/kobo2023/>

添付書類が紙媒体の場合、下記送付先まで郵送ください。申請書応募メールに、別途郵送物があることを明記してください。

※ 送受信のトラブルに備えて、公募担当より受付通知メールを返信いたします。メールでの応募後に返信メールが届かない場合には、必ず電話で公募担当にご確認ください。

8. 応募受付期間

2022年12月7日（水）～2023年1月31日（火）

9. 送付先・問い合わせ先

一般社団法人 アクト・ビヨンド・トラスト 助成係
〒150-0044 東京都渋谷区円山町 5-5 Navi 渋谷 V 3F
助成担当：八木晴花
電話：070-6551-9266（平日 10時～19時）
【12/28～1/4 は年末年始休業】
Email：grant@actbeyondtrust.org

10. 一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストについて

abt は、act beyond trust（信頼・信託は大切だが、ときにはそれさえも超えて行動しよう）という名称どおり、自然環境と人間生活の調和を目的とした市民の主体的活動を支援するため、問題解決に取り組む個人や団体へのコンサルティング、資金援助、技術および人材提供、トレーニングなどを行なう独立した民間基金です。

abt ウェブサイト

<http://www.actbeyondtrust.org>

abt フェイスブック

<https://www.facebook.com/actbeyondtrust>